

施政方針

まちづくりの骨子

Town Planning 2015

平成27年第1回芝山町議会定例会の初日である3月9日、相川町長が新年度に向けて施政方針を述べた。

平成27年度
施政方針

芝山町長 相川 勝重

町制施行60周年

昭和30年7月に二川村と千代田村が合併して芝山町となつてから、本年度で60周年を迎えます。芝山町誕生以来、幾多の激動や試練を乗り越え、町の発展に尽力された先人の方々の努力に心から感謝申し上げます。

60周年の節目として、本年は多くの記念事業に取り組んでまいりたいと存じます。その一つとして、10月4日に記念式典を開催いたします。

また、国民的アイドルグループであるAKB48の永尾まりやさんを観光親善大使に委嘱しました。すでに成人式、消防団への激励、芝山仁王尊の節分会などにも参加され、その存在感を遺憾なく発揮していただいております。この後も1日町長、1

日保育所長、芝山鉄道駅長など、活躍していただきます。

そして、鹿児島県奄美市と交流を結ぶことにいたします。これによって、人的交流、文化交流もなお一層深まるものと期待するところです。奄美市は全国民間空港関係市町村協議会の一員でもあり、この秋に成田市と芝山町で開催される総会に出席します。また成田空港からLCCも就航しており、非常に身近に感じられるようになっていきます。

新生芝山小学校

芝山町立の3小学校がこの4月に統合され、「新生芝山小学校」としてスタートいたします。今回の統合にご尽力いただきました多くの皆さま

んに心より敬意と感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。この統合が、子どもたちやご家庭、学校、地域、そして町にとって良かったと言っていただけのものでないことをいきたいと思います。

また、菱田小学校と東小学校跡地の利活用ですが、多くのご意見や希望があると伺っております。平成27年中に一定の方向性を示していきたいと考えています。

子育て支援の充実

少子化の時代を迎える現在、「子どもたちが住みやすく幸せを感じられる町、子育てをしやすい町」をつくるということが非常に重要だと感じております。

小学校の統合に伴い、各小学校区にあった学童クラブを一つにし、芝山小第一・第二学童クラブが新たに4月よりスタートいたします。新設される学童クラブは、今まで小学校3年生までとしていた対象学年を6年生までと拡大し、開所時間も午後6時までだったものを午後7時まで延長いたしました。県下でもこれだけの対象学年と開所時間で運営している学童クラブは少ないと聞いております。

また、以前より設置希望の声が上がっていた「子育て支援センター」ですが、週に1〜2回程度の開所です。事業を始めたいと考えております。

さらに、保育所の統廃合につきましても、今後具体的な検討に入りまして、今まで以上に質の高い保育を提供できるよう、考えてまいります。

4月からは、就学前児童から小学校6年生まで、切れ目のない保育制度が整います。少しずつではありませんが、子育て支援の体制が充実してきていると実感いたします。芝山町で育った子どもたちが、輝ける未来へ巣立っていきけるよう、しっかりとサポートしていききたいと思えます。

まちづくり施策

芝山鉄道が供用開始されて12年がたちました。芝山千代田駅周辺を本格活用するためにも、さまざまな取

り組みが必要です。インフラ整備など、地域活性化に向けた施策を提案し、実現にまい進してまいりたいと存じます。

交通渋滞の緩和と移動時間の短縮化に向け、菱田地先では現在、はにわ道Ⅱ期・Ⅲ期の整備が進められています。県と連携し、南北の流動軸としての効果的な道路機能が果たせるよう、計画的に進めてまいります。また、今ある道路もしっかりと整備し、老朽化に対する取り組みに力を入れてまいります。

下水道事業の推進のため平成17年に完成した芝山クリーンセンターは、来年度、水処理施設の2系増設工事を開始します。万全なる管理体制のもと、施設を維持していくとともに、快適な生活環境と豊かな自然環境保全を目指し、環境整備に取り組んでまいります。

本町は、芝山仁王尊、道の駅・空の駅、航空科学博物館など、数多くの観光資源を有し、町全体が観光資源といっても過言ではありません。平成24年3月に策定した、「まちづくり構想」を基本とし、町の観光資源の発掘および活用をしていきたいと思っております。特に、空の駅「風和里しばやま」周辺を中心に、グリーンポートエコ・アグリパーク、水辺の里、「仮称）空港の見える丘」などを総称して「スカイパークしばやま」として発信していきたいと考

えています。

「仮称）空港の見える丘」は平成27年度中に完成予定で事業を進める予定です。ここは、飛行機が滑走路に降り立つ姿を間近に見られる絶好のスポットです。航空ファンの方はもちろんのこと、車いす利用者駐車場やスロープを設置して、お年寄りや子ども連れのご家族など、幅広い方々に愛される施設を建設したいと考えています。

引き続き、芝山町の基幹産業である農業・空港・商工観光を3本の矢として位置づけ、活力あるまちづくりに取り組んでまいります。そして町民の皆さんにとって、「自信と誇りを持って住み、働き、活動できる町」になるよう、より一層励んでまいります。

成田国際空港騒音対策委員会 芝山地区部会

- ① 本年度は3項目を要望いたします。航空機からの落下物への対応と対策について
- ② 成田空港南側における空港内への進入路の新設・整備について
- ③ はにわ道Ⅲ期北側・横堀地区の空港用地への取り込み・拡大について

ここでは具体的に申し上げませんが、芝山町の今日抱えている大きな課題でもあり、地域づくりの道筋の

一つでもあります。この3項目については、委員会でお話を伺えるものと存じます。

将来人口の推計

先日、国立社会保障・人口問題研究所は、2010年に1億2800万人だった日本の人口が、2048年に1億人を割り、2060年には9000万人を割り、2110年には4300万人程度まで減少すると予想しています。労働力を確保し、経済的活力を維持するには、まず、子どもを産み育てやすい社会を作るように努力しなければなりません。外国人労働者や移民が働き、住みやすい社会にすることも大事です。

世界の先進諸国の多くも日本同様、少子化や高齢化そして人口減少に直面しています。しかしながら2050年の世界人口は約91億人になるとの予想もあり、そのうちの8割がアジアとアフリカの人々になるそうです。

アジア・アフリカ圏との交流は、着実に増加していきます。国際政治も経済も社会も、その基本ルールを変えざるを得なくなるかもしれません。そうした潮流は日本や空港周辺にも波及するかもしれません。今後どのような町、どのような地域を目指していくのか、しっかりと問い直してまいります。